

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年7月8日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年7月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【ろ過水純水設備の純水系回収タンク(B)の水位計上部元弁開固着について】 当直員がろ過水純水設備の純水系の回収水タンク(B)水位計上部元弁が開状態で、ハンドルが空回りして開閉できないことを確認。 現状は、当該弁が開状態であることから水位の確認は可能。 今後、点検修理予定。	GⅢ	7月2日
2	【陸側遮水壁設備の冷却塔2B-6散布水ポンプの自動停止について】 当直員が陸側遮水壁設備の冷却塔2B-6散布水ポンプ起動操作時に、当該ポンプの故障を知らせる警報の発生とともに自動停止を確認。 調査をしたところ、散水ポンプの軸に固着が確認されたため、今後、分解点検修理予定。 なお、予備機に切り替えて運転しているため問題なし。	GⅢ	7月6日
3	【陸側遮水壁設備の冷却塔2A-4散布水ポンプの自動停止について】 当直員が陸側遮水壁設備の冷却塔2A-4散布水ポンプ起動操作時に、当該ポンプの故障を知らせる警報の発生とともに自動停止を確認。 調査をしたところ、散水ポンプの軸に固着が確認されたため、今後、分解点検修理予定。 なお、予備機に切り替えて運転しているため問題なし。	GⅢ	7月7日